

東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会開催！！

2019 年 1 月 24, 25 日に仙台市にある日立システムズホールにて平成 30 年度東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会が行なわれた。東北 6 県から各県 3 校ずつ計 18 校約 300 人の生徒が参加した。大会はどのような雰囲気で行われ、どのような様子だったのだろうか。



講評，アドバイスを頂いた講師の先生方

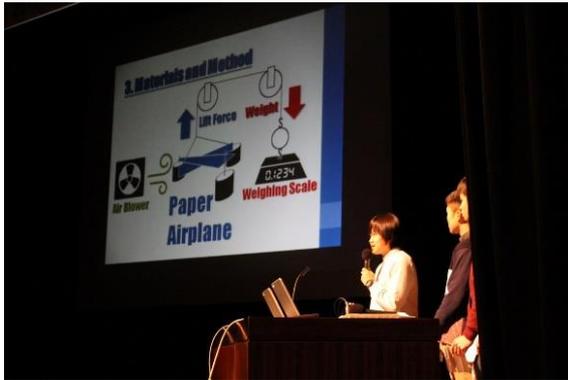
生徒の中から、もっと話す時間が欲しいといった意見も上がるくらい熱の入った時間になった。参加した生徒にとってはとても良い機会になったと思う。自らが時間をかけて研究してきたテーマを発表し、同世代からの質問や意見に答え、さらには講師の先生方から貴重なアドバイスをもらうことができた。

本校からは第 1 日目の口頭発表に物理ゼミ，第 2 日目のポスター発表に国語ゼミ，災害研究ゼミが参加した。どの班も本校の代表らしく，一高生らしい発表であった。特に物理ゼミの発表は唯一の英語による発表で，他校の生徒や講師の先生方からも良い講評をいただくことができた。

<仙台一高代表の発表タイトル>

- | | |
|-----------|---|
| 1 日目 物理ゼミ | The relationship between the shape of paper airplane's main wing and the lift force |
| 2 日目 国語ゼミ | 「字は人となり」は正しいのか ~手書き文字から予想される書き手の性格と自己認識の差異に関する研究~ |
| 災害研究ゼミ | 粉雪 ねえ 道路まで白く染めないで ~防雪柵の返しと積雪量の関係~ |

発表をする物理ゼミ



表彰を受ける災害研究ゼミ



以下、参加生徒による感想を紹介します。

・様々な分野で研究を行う生徒が集まって発表しあうことによって、自分でも気づかないところを、様々な視点からの意見を通して気づくことができとても勉強になった。いい経験ができて大変満足した。(青森県立弘前南高校)

・多くの参考になるポスターを見ることができ、多種多様なテーマに触れることができとてもよかった。また自分たちの研究内容やポスターに対する客観的な意見を多くもらうことができたので今後の参考にしたい。(岩手県立水沢高校)

・東北各県の様々な発表を聞いて、とても深いところまで調べていたり、大学の先生と問題を研究していたりとレベルの高い発表をたくさん聞くことができ刺激をもらった。1つの問題・疑問に対し、いろいろな角度から見て試行錯誤し、研究の楽しさはそういうものなんだと改めて感じた。(山形県立東桜学館高校)

<編集後記>

今回の東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会は、参加者の感想からもあるように、とても大きな意味を持つものになったと思う。様々な高校の生徒同士がお互いの発表を聞き合い、質問を投げかけることで、同じ年代だからこそ気づくことができる研究に対する疑問点があると改めて感じた。また、大学の教授の先生方からもアドバイスをいただいたことも非常に良い経験になったと思う。

今回参加した全ての生徒には高校在学時のみだけでなく、大学やその先の未来でも研究を続けてもらいたい。参加できなかった生徒も研究を続け、さらに良い研究にしてもらいたい。

今月は若林文化センターで最後の研究発表会がある。選ばれた各ゼミの代表は自信を持って堂々と発表してもらいたい。一年生は来年度にうまく生かしてほしい。

(文責：松沢)